

## 予算審査特別委員会総務文教分科会

1 開会日時 令和元年12月6日(金)午前11時30分

2 閉会日時 令和元年12月6日(金)午前11時52分

3 会議場所 議会委員会室

4 出席委員

1 番 永徳 省二君                      3 番 佐藤 武君                      7 番 大口 浩志君

1 2 番 北川 勝義君                      1 6 番 下山 哲司君                      1 7 番 実盛 祥五君

5 欠席委員

な し

6 説明のために出席した者

市 長	友實 武則君	副 市 長	前田 正之君
副 市 長	川島 明昌君	教 育 長	内田 恵子君
総合政策部長	安田 良一君	総務部長兼 監査事務局長	塩見 誠君
財務部長兼 会計管理者	藤原 義昭君	教 育 次 長	末本 勝則君
赤坂支所長兼 市民生活課長	土井 常男君	熊山支所長兼 市民生活課長	矢部 恭英君
吉井支所長兼 市民生活課長	是松 誠君	消防本部消防長	井元 官吏君
秘書広報課長	小引 千賀君	政策推進課長	花谷 晋一君
総務課長	小坂 憲広君	くらし安全課長	岡本 和典君
財政課長	和田美紀子君	管財課長	戸川 邦彦君
税務課長	遠藤 健一君	教育総務課長	金島 正樹君
学校教育課長兼 中央学校給食センター所長	家森 康彰君	社会教育課長兼 スポーツ振興課長	土井 道夫君
中央公民館長	杉原 泉君	中央図書館長	矢部 寿君

7 事務局職員出席者

議会事務局長 元宗 昭二君                      主 事 松尾 康平君

8 審査又は調査事件について

1) 議第87号 令和元年度赤磐市一般会計補正予算(第3号)の総務文教常  
任委員会所管部分

9 議事内容 別紙のとおり

午前11時30分 開会

○分科会委員長（北川勝義君） ただいまから予算審査特別委員会総務文教分科会を開会いたします。

これから分科会の審査に入ります。

当分科会の審査対象は、議第87号令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）のうち総務文教常任委員会所管部分であります。

執行部からの補足説明がありましたらお願いしたいと思います。

なお、説明は補正予算書及び説明資料のページ番号を言ってから行うようにお願いしたいと思います。

それでは、執行部のほうから説明願いたいと思います。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○総務課長（小坂憲広君） 総務部からは、令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）総務部資料1ページになります。それから、一般会計補正予算書7ページから11ページ、補正予算説明資料4ページから7ページになります。

こちらですが、人事院勧告に準じた給与改定等及び人事異動によります各支出費目の調整に係る人件費を補正するものでございます。

補足説明は以上でございます。

○財務部長兼会計管理者（藤原義昭君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 財務部長。

○財務部長兼会計管理者（藤原義昭君） 財務部資料は1ページから、予算書は6ページとなります。

歳入では財政調整基金繰入金を増額、次に歳出では予算書で過年度還付金の増加のこの2件でございます。詳細につきましては本会議での説明のとおりで、補足説明はございません。

以上です。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 教育委員会の令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）について、まず教育総務課から補足説明させていただきます。

予算書10ページ、11ページ、予算資料では6ページ、7ページをお願いいたします。あわせて、教育委員会資料の1ページ、2ページをお願いいたします。

歳出補正でございます。

職員人件費の補正予算でございます。今回の人件費の補正予算につきましては、人事院勧告及び人事異動等により人件費を補正するものでございまして、予算書の10ページから11ページ

で10款教育費、1項教育総務費、5項社会教育費、6項保健体育費、それぞれ給料、職員手当等を補正計上しております。教育費全体で344万8,000円を増額するものでございます。

続いて、令和2年4月から小中学校において普通学級が1学級の増及び特別支援学級が9学級の増が見込まれるため、それに伴う教室改修工事費及び備品購入費の補正を計上しております。

1項教育総務費では、教室などで使用するノートパソコンの購入費等での増額、2項小学校費では、既存教室の改修工事費、ホワイトボード、整理棚などの備品購入費での増額、中学校費の一般管理事業では、既存教室の改修工事費、ファンヒーター、生徒用机、椅子などの備品購入費を増額するものです。

教育総務課からは以上です。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） それでは、お手元の資料の2ページをお開きください。予算書につきましては4ページ、予算資料につきましてはございません。

スポーツ振興課は債務負担行為のことでございます。東京オリンピック聖火リレー事業といたしまして、令和2年5月に赤磐市において東京オリンピック聖火リレーが実施されることに伴い、その業務の一部を委託するため、債務負担行為として補正するものでございまして、債務期間につきましては令和元年度から令和2年度、限度額902万8,000円ということでよろしくお願いいたします。

以上、スポーツ振興課でした。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 先ほどと同じページをごらんください。

中央学校給食センター調理等業務委託について、準備期間を含めた令和2年8月から3年間、民間委託のための債務負担行為として補正するものです。限度額1億5,008万4,000円を計上するものです。よろしくお願いいたします。

以上です。

○消防本部消防長（井元官史君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 消防長。

○消防本部消防長（井元官史君） 消防本部の資料をごらんいただければと思います。あわせて、予算書は9ページ、補正予算説明書は6ページから7ページをごらんいただければと思います。

消防本部の今回の補正ですけれども、359万円の増額をお願いするものですが、これは

被扶養者の増加に伴うものとして今回補正を上げさせていただいております。内訳としましては、3節の職員手当等184万9,000円、それと4節の共済費174万1,000円、合わせて359万円の増額を補正させていただくものです。簡単ではございますが、説明とさせていただきます。

○分科会委員長（北川勝義君） 執行部の説明が終わりました。

それでは、これから質疑を受けたいと思います。

全体でいかせてもらおうか。全体でいかせてもらって、前後しても構いませんから。

質疑はありませんか。

永徳委員。

○委員（永徳省二君） 議案書の4ページ、東京オリンピック聖火リレー事業の902万8,000円、もうちょっと詳細にどんなものに使うのか教えていただければと思います。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 土井課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） それでは、スポーツ振興課から債務負担行為の内容についてということで御説明させていただきます。

来年5月21日に赤磐市において聖火リレーが行われます。それに伴いまして、道路の交通規制等とあとミニセレブレーション等がございまして、道路の交通規制につきましては警備員並びに交通規制に伴うコーンバー等を要するため、先に契約をいたしまして、警備員等の確保、資材等の確保をさせていただくべく、今回債務負担行為をお願いするものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（北川勝義君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 交通規制とその機材だけで902万円もかかっちゃうものなんですか。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） こちらにつきましては、オリンピック組織委員会がコースを見まして、警備員が50名要ると、あとコーンバーも約2キロにわたって全部通行どめを下さいということで、その辺の看板とかございまして。

それから、オリンピックも今度いつあるかわからないということで、小中学生の5年生以上につきましては沿道で応援していただくように考えております。そのバスにつきましても、約30台で児童・生徒を運ぼうということでさせていただいております。よろしく願いいたします。

○分科会委員長（北川勝義君） よろしいか。

○分科会副委員長（佐藤 武君） はい、関連で。

○分科会委員長（北川勝義君） 佐藤委員。

○分科会副委員長（佐藤 武君） 関連でお尋ねします。

オリンピックの聖火リレー事業ということで、前も800万円ぐらいだったような気がするんですけど、これは限度額ということでふえたのかなということと、それからこの事業費は全て単市持ち出しでしょうか。できれば国から少しでもいただけるように努力していただきたいなということをお尋ねします。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 財源につきましては、県のほうが800万円を限度に400万円の補助をいただけるということで、そちらのほうの財源措置も考えております。

以上です。

○分科会委員長（北川勝義君） 佐藤委員。

○分科会副委員長（佐藤 武君） 県のほうが400万円出していただけるということで、残りほんなら単市負担ということですか。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） そのとおりでございます。

○分科会委員長（北川勝義君） 佐藤委員。

○分科会副委員長（佐藤 武君） ちなみに、国からは出ないですね。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 今のところ県だけです。

○分科会委員長（北川勝義君） よろしいか。

○分科会副委員長（佐藤 武君） はい。

○分科会委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

○分科会副委員長（佐藤 武君） じゃあ、いいですか。

○分科会委員長（北川勝義君） 佐藤委員。

○分科会副委員長（佐藤 武君） 教育総務費の中で、特別支援学級、小学校、中学校の教室をふやしていただくということで、小学校が7ですか、教室が増、それから中学校が2ということで、非常に支援学級の取り組みをいただいていることに感謝するんですが、当然支援員とか指導員とか養護教諭も必要になってくると思うんですが、その先生とか指導員の方の対応は、新年度で十分取り組んでいただくとは思いますが、どれくらいの増員を教育委員会としては予定していますか。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 特別支援学級の増設に関して

は、その増室分、学級分に合わせて県のほうから職員が入ります。

○分科会副委員長（佐藤 武君） どれくらいですか。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 1学級1人です。1つの学級ができれば1人教員が派遣されます。

○分科会副委員長（佐藤 武君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 佐藤委員。

○分科会副委員長（佐藤 武君） 1学級1人ということで、1学級は大体2人くらいですか、3人から4人でしたか。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 1学級の子供の数ということで

○分科会委員長（北川勝義君） そうじゃろ。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） それはクラスによってまちまちです。

○分科会副委員長（佐藤 武君） クラスによっていろいろ、程度によってということだと思いますが、大体3人か4人ぐらいいらっしゃるのかなと私は認識してるんですけども、違いますか。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 県のほうで決まりがありまして、最大8人です。8人を超えたら2クラスになります。9人であれば単純計算だと4人と5人ですが、あとは学年を考えながら、1つのクラスに1年から5年までとか6年まで入るのは大変なので、そこは1、2年と4、5、6年とかというふうに分けながら、学級の中の人数は変えていきます。

○分科会委員長（北川勝義君） よろしいか。

○分科会副委員長（佐藤 武君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 佐藤委員。

○分科会副委員長（佐藤 武君） 当然、今おっしゃられたように、人数によって指導員、先生のほうもふえるというふうに理解してよろしいんですか。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） はい、そうです。クラスの数で先生の数が決まりますので、そこはそのようになります。

- 分科会委員長（北川勝義君） 佐藤委員。
- 分科会副委員長（佐藤 武君） 養護教諭ということでよろしいんですかね、今のは。
- 分科会委員長（北川勝義君） 課長。
- 学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 養護教諭ではなく特別支援の教諭です。養護教諭というのは保健室の先生なので、ちょっとそことは違います。
- 分科会委員長（北川勝義君） 佐藤委員。
- 分科会副委員長（佐藤 武君） 支援学級の先生ということなんですけれども、当然先生だけじゃなくて指導員の方がいらっしゃるような気がするんですが、それはもう全然考えていないんですか。
- 学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 委員長。
- 分科会委員長（北川勝義君） 課長。
- 学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 基本的に県からは支援学級に1人教師がつかます。あと、状況に合わせて特別に支援が必要だということになれば、そのときは県のほうに要望したり、また緊急を要する場合は市費で何かするという可能性は出てきます。
- 分科会委員長（北川勝義君） よろしいか。
- 分科会副委員長（佐藤 武君） 委員長。
- 分科会委員長（北川勝義君） 佐藤委員。
- 分科会副委員長（佐藤 武君） 当然、7教室と2教室、2教室については小学校からの持ち上がりということで予測ができるかなと思うんですが、小学校の場合は何人ぐらい支援を要する子供がいるのか、それは把握されていますか。
- 学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 委員長。
- 分科会委員長（北川勝義君） 課長。
- 学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 現在の赤磐市全体ということですか。
- 分科会副委員長（佐藤 武君） はい。
- 学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 今細かい数まではわからないんですが、しばらくお待ちください。
- 教育総務課長（金島正樹君） 委員長。
- 分科会委員長（北川勝義君） 課長。
- 教育総務課長（金島正樹君） 小学校、中学校全体の数は足さないといけないんですけど、各学校で人数が何人ふえるというのはわかります。
- 分科会委員長（北川勝義君） 佐藤委員。
- 分科会副委員長（佐藤 武君） そしたら、また後で教えていただければと思いますが、私

が申し上げたいのは、先生の確保、それから指導員、表現が悪いかもしれませんが、支援学級ということで非常に大変な授業といたしますか、指導が必要ということですので、その対応策といたしますか人の手当というものを十分にお願ひしたいなということをお願いしておきますので、よろしくお願ひします。

○分科会委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

○委員（下山哲司君） はい。

○分科会委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 総務部の分で2,182万円、人事院勧告分はどのくらいあるのかな、これは。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○総務課長（小坂憲広君） このうちの人事院勧告分は123万6,000円でございます。

以上です。

○分科会委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

○委員（大口浩志君） はい。

○分科会委員長（北川勝義君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） まず、過年度還付金の金額が載っただけですけど、これじゃ足りないんじゃないかというような経済状況が聞こえてくるんですけど、いかがなんでしょうか。

○税務課長（遠藤健一君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 遠藤課長。

○税務課長（遠藤健一君） この過年度還付金と申しますのは、委員のおっしゃられるとおり、実際には見込みが立ちません。積算を我々もさせていただくすべとしましても、過去の3年間ぐらいを振り返って同時期どのぐらいあったかなというような積算のものしかございませんので、ひとまずこのあたりで前年度並みということでこの300万円という金額をさせていただいておりますが、御指摘のとおり、今年度になりまして9月に1回予備費のほうで補正をさせていただいております。それに加えてまた今回ということで、結局9月にお世話になったんですけどショートしてきたという実態がございます。

御指摘のとおりで、市内製造業さんを中心にこのところ減益であるという状況が見えてきております。一旦、法人市民税の場合は前年の法人割額に対して2分の1というものを中間で予定納税をしていただくという仕組みになっておりますので、どうしても収益の状況によってこういうことになってまいります。場合によってはまた今後補正なり予備費でお世話になることもあるかもしれませんが、ひとまずこのたびはこういう形でお願ひをしたいと思います。

以上でございます。

○分科会委員長（北川勝義君） よろしいか。



○委員（大口浩志君） はい。

○分科会委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

○委員（大口浩志君） はい。

○分科会委員長（北川勝義君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 予算書の4ページになるのかな、学校給食センターの調理等業務委託料の中でプロポーザルで御提案をいただくというような説明が本会議であったと思いますが、その際に含んどいていただきたいと思うのが、委託先に何かふぐあいが発生したときの対処方法、もしくはこの間この事務局が3人インフルで罹患されて、率にしたら6割の方が休まれるような事態が発生しました。そういうことも含めてのヘッジを御検討いただいて、プロポーザルそのほかに取り組んでいただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 課長。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 今回の件につきましては、仕様書の中にその内容を盛り込んで補償をしっかりとすることで提案をするように今検討しているところです。

以上です。

○分科会委員長（北川勝義君） よろしいか、大口委員。

○委員（大口浩志君） はい。

○分科会委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

下山委員。

○委員（下山哲司君） 今回の給食センターの分です。これは前に説明があった内容とは変わっていないんですね。前の委員会でこういう方向でということで内容を説明してもろうとんですけど、内容的に変わったところはないんですね。変わってなけりゃええんじゃないけど、変わったところがあるんだったら説明しといてくださいよ。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 委員長。

○分科会委員長（北川勝義君） 所長。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 変わっているところはありません。

○分科会委員長（北川勝義君） よろしいか。

○委員（下山哲司君） はい。

○分科会委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（北川勝義君） 他になければ、これで質疑を終わります。

以上で当分科会の審査は全て終了しました。

なお、委員長報告については委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（北川勝義君） それでは、そのようにさせていただきます。

皆様方には本日は長時間にわたり大変御苦労さまでした。

これで予算審査特別委員会の総務文教分科会を閉会といたします。

午前11時52分 閉会